

アクチノイド

アクチノイド あくちのいど

周期表において原子番号 89 のアクチニウムから 103 のローレンシウムに至る 15 の元素の総称である。原子番号 90、91、92 のトリウム、プロトアクチニウム、ウランは天然に存在するアクチノイドである。93 のネプツニウム以降は人工元素であり、例えば原子炉内で核燃料物質が中性子捕獲反応と β 壊変を繰り返すことによって生成する。したがって原子炉の使用済み燃料のなかには、原子番号 94 のプルトニウムとともに微量の他のアクチノイドが含まれている。一般に長寿命の放射能を持ち、 α 壊変を行うが、重い元素では自発核分裂も行う。用途としては原子力分野が多く、核的性質が利用されるので、元素としての特性よりは、個々の同位体の性質が重要視される。アクチニウムを除外してアクチノイドと呼ぶこともある。

<登録年月>
1998年01月
